

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	光環境性能・基準小委員会		主 査 名：平手 小太郎 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (光環境運営委員会)		委員長名：井上 勝夫 主 査 名：岩田 利枝
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・性能・基準に係わる光環境分野の課題の明示 ・当該課題に対して有効な建築学会基準(アカデミック・スタンダード)を作成 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	主査：平手 小太郎(東京大学), 幹事：宗方 淳(千葉大学), 大井 尚行(九州大学) 委員：奥田 紫乃(同志社女子大学), 加藤 未佳(日本大学), 佐藤 隆二(大阪工業大学) 井上 容子(奈良女子大学), 三木 保弘(国土交通省国土技術政策総合研究所), 吉澤 望(関東学院大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2007 年度予算	48,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(内訳 小委員会メール審議 2 回, 主査幹事会 2 回を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 日本建築学会環境基準 AIJES-L001-200X「室内光・視環境に関する窓・開口部の設計・維持管理規準・同解説」(案)の作成準備 2. 具体的内容：WD (Working Draft) 完成 (2008 年 3 月末)
委員会活動の問題点・課題	1. 委員の分散による会合開催・意見集約の困難さ

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2007 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2008年4月から、企画刊行委員会へ移行することになり、現小委員会は設置期間の途中であるが廃止することとした。建築学会基準（アカデミック・スタンダード）に向けて、中間段階のWD（Working Draft）を完成させ、移行の条件を整えることができたので、一定の評価は可能だと思われる。ただ、当初の予定より遅延している部分もあり、評価上のマイナス要因と判断した。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。